

Hand - in - Hand

江南市立布袋北小学校

No.5

10月20日

☆『異年齢交流』☆

子どもたちは普段、学級や学年で行動する同年齢集団の中で生活しています。発達段階がほぼ同じなので、お互いのことがよく分かります。異年齢集団になると、発達段階が違うので、お互いに相手を思いやったり、手助けをしたりする必要が出てきます。他者理解、自己肯定感、貢献意欲を養う場になると考えます。

☆『ふれあい遊び』☆

通学班で普段顔を合わせながらも、昔のように一緒に遊ぶ時間や場所が十分確保できない今の子どもたちに、異学年の友達と遊ぶ機会を業前の15分間に計画しています。10月13日(木)は、ややどんよりした空模様が気がかりでしたが、子どもたちの元気いっぱい楽しく走り回る姿が見られました。ドッジボールや縄跳びをやったり、ジャングルジム、うんてい、登り棒、竹馬で遊んだり、鬼ごっこをしたりしている班もありました。

今後は11月10日、12月1日、1月12日に予定しています。



☆『就学時健康診断』☆

10月12日(水)に、来年度本校の1年生になる保育園・幼稚園の年長さん対象に就学時健康診断を行いました。4月から最高学年になる5年生がその補助をしました。会場の準備をしたり、就学児一人ずつに5年生児童が対応して検査会場を回ったりしました。5年生の優しく接している姿や一生懸命に活動している姿が印象的でした。貢献感を味わうことができたと思います。

ぼくは就学時健診をやって、新1年生に楽しく入学してもらいたいと思いました。ぼくもお世話をしてもらいました。新1年生は「ありがとう」と言ってくれました。もう一度あの子に会って、遊びたくなりました。

来年、入学してきたら私は6年生になるので、学校全体を責任をもってリードしていきたいなと思います。



時間があつたので本を読んであげました。『スイミー』やクイズの本です。しっかり聞いてくれました。私が帰る時さみしそうにしていたけど、「また会おうね」と言ったらうなずいてくれました。来年が楽しみになりました。

接するのに工夫したことは、しゃがんで目線を合わせるといことです。他にも「だいじょうぶ？」と声をかけたりしました。6年生になっても楽しく接したいです。